

## 〔 競技注意事項 〕

1. 本大会は 2019 年度日本陸上競技連盟規則ならびに本大会要項によって行う。  
なお、スタートに関しては国内ルールを適用する。

2. 学校受付について

各校引率顧問は、2 日間とも競技開始 30 分前までに受付をすませておくこと。  
(顧問の受付がない場合は選手の大会参加は認められない)

3. ナンバーカードについて

- (1) 記録処理システムの都合上、個人登録ナンバーについて記録掲示板には以下のように記載をする。  
アルファベット "F" を省略し、ナンバーのみで表示  
例) 男子: F1 → 1                      女子: F5001 → 5001
- (2) ナンバーカード(ビブス)を胸部・背部に確実につける。ただし、走高跳・棒高跳は胸・背いずれか一方でよい。走幅跳・三段跳は胸につけるだけでもよい。
- (3) トラック競技においては腰ナンバーカードを使用する。招集時に受け取り右腰につける。
- (4) 5000m 以上の競技については、指定されたレーン番号のナンバーカードを胸につける。ただし、競歩は胸と背につける。
- (5) 貸し出したナンバーカード・腰ナンバーカードはフィニッシュ後、係(東器具庫前)に返却すること。

4. 招集について

- (1) 招集所はスタンド下西側(競技者係室前)に設ける。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	<招集開始時刻>	<招集完了時刻>
トラック競技	40 分前	20 分前
跳躍競技	50 分前	30 分前
(棒高跳のみ)	80 分前	60 分前
投てき競技	50 分前	30 分前

※ リレー種目のオーダー用紙は、招集完了時刻の 1 時間前までに提出すること。オーダー用紙は招集場所で配付する。ただし、予選に関しては招集時に 4 人揃ってオーダー用紙の提出とナンバーカードの確認をもってコールとする。選手ユニフォームは統一すること。オーダー用紙提出後の変更については、総務・医務係の了承のうえ、招集所に申し出ること。

- (3) 招集完了時刻に遅れた場合は棄権と見なし、出場を認めない。

5. 競技場への入退場について

- (1) トラック競技
  - ① スタート地点に 10 分前には行き、準備すること。
  - ② スタート練習は、役員の指示に従って行うこと。
- (2) フィールド競技
  - ① 招集完了後すみやかに競技場所に移動し、競技役員の指示に従って競技場内で練習を行うこと。
  - ② 特に、投てき競技については危険をともなうので勝手な行動はつつしむこと。
  - ③ 退場は、跳躍および投てき競技役員の指示・誘導により行う。

6. 走路順・試技順について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の番号順とする。
- (2) 欠場者のレーンをあける。ただし、800m 以上の競技については出発係の指示に従うこと。
- (3) 選手の変更は一切認めない。ただし、リレー競技はこの限りではない。

## 7. 競技について

- (1) 同一選手がトラック競技とフィールド競技を同時刻に兼ねて行う場合は、トラック競技を優先とし、フィールド競技は同一ラウンドにおいて競技役員の許可を得て順序を変更することができる。なお、トップ8の6回目については変更することができない。
- (2) セパレートレーン使用の競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全のために、自分の割り当てられたレーン<曲走路>を走るものとする。
- (3) フィールド競技における競技開始前（招集所から入場後）練習は競技役員の指示によって行う。
- (4) 男子走幅跳、三段跳、女子走幅跳はA・Bピットで実施する。
- (5) 男子三段跳の踏切板は10mとする。女子三段跳の踏切板は7mと9mを併用する。ただし、審判長の判断で変更することもある。
- (6) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については以下のとおりとする。ただし、審判長の判断で変更もあり得る。

走高跳	男子	練習(1.55・1.75)	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	以後 3cm
	女子	練習(1.20・1.40)	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55 以後 3cm
棒高跳	男子	練習(2.50・3.20・3.60)	2.60	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	以後 10cm
	女子	練習(1.80・2.40)	1.80	2.00	2.20	以後 10cm			

- (7) ハンマー投は、6位までの入賞者で県新人参加標準記録(男子 33m, 女子 23m)未満の競技者に決勝後3回の追加試技を与えることができる。追加試技で標準記録を超えた場合には県大会に出場できる。
- (8) 棒高跳、円盤投、ハンマー投については天候不良の場合、日程を変更することがある。

## 8. 競技の番組編成について

- (1) トラック競技の準決勝以降の進出者の発表は、アナウンスすると共に中央階段付近の掲示板に掲示する。
- (2) トラック競技で同記録の場合、写真判定で着差があれば着順を優先する。
- (3) トラック競技のプラス取りの決定については、記録の上位の選手から取る。同記録の場合は1000分の1秒までの判定により進出者を決定する。レーンに余裕がない場合は抽選を行う。

## 9. 上訴について

抗議にあたっては、記録が掲示された時間を基準とし、次のラウンドがある場合は15分以内、ない場合は30分以内で本部（総務員）に口頭で申し出る。

## 10. 競技場使用について

- (1) スパイクピンの長さは8ミリ以下とする。ただし、走高跳・やり投は12ミリ以下とする。招集時にスパイクピンのチェックを行うので、招集とともにチェックを受けること。
- (2) 競技に使用する器具はすべて競技場備え付けのものを使用する。ただし、「棒高跳用ポール、やり」については個人の物を使用することができる。「やり」は、競技開始60分前から45分前までに本部にて検査を受けること。
- (3) 応援はスタンドで行い、本部前通路や競技場内に立ち入って行わない。
- (4) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものになっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

- (5) 指定された場所以外へのテント設営、立ち入りを禁止する。
- (6) 倉庫前、器具を取り出した後の倉庫内は待機場所としての使用を原則禁止する。
- (7) 競技者は管理棟内のトイレの使用を禁止する。外のトイレおよびスタンド下のトイレを使用する。
- (8) 競技終了後・閉会式終了後は速やかに場外へ出てください。場内の清掃ができなくなります。

(9) 清掃について

清掃当番校 1日目：津島北・滝 2日目：一宮北・尾北

該当校は競技終了後、ただちに本部室前に集合してください。

11. ウォーミングアップについて

- (1) 競技開始前のウォーミングアップは2日間とも8時から競技開始の15分前までとする(1日目は9時00分より開会式を行うため、その間は完全にウォーミングアップを中断する)。長距離が1・2レーン、ハードルは外側2レーンを使用する。ハードルを使った走練習はトラック以外では禁止する。特に、ホームストレートと第4コーナー出口付近では接触の危険性が非常に高いので、係の指示に必ず従うこと。ジョギングに関してはトラックの外側で競技会準備の支障にならないように行うこととする。
- (2) 競技中のバックストレートでのウォーミングアップは、下記の条件付きで認める。
  - ①場 所：第1曲走路の中間地点から第2曲走路の中間地点。完全に停止すること。
  - ②レーン：6・7・8(競歩競技の時間帯は7・8レーンのみ)
  - ③種目間、組間の空白時間帯で準備に支障をきたさない時
  - ④可能な種目の時間帯：100m、100mH、110mH、1500m、3000m、5000m、5000mW  
また、100mH、110mHのハードルを用いたウォーミングアップは、3000mSCのレース中にホームストレート8・9レーンで2台まで可能とする。400mHについては、3000mのレース中からバックストレート上で7・8レーンで3台まで可能とする。
- (3) 競技場以外での投てき物を用いる練習は一切禁止とする。
- (4) 投てき競技における競技前・競技中の練習で使用できる器具はタオル等、人に危害を加えないものに限る。
- (5) やりの突き刺し練習、砲丸の打ち付け練習は禁止する。

12. 電気計時・写真判定装置が作動しなかった場合の措置について

①短距離種目

判定可能なレース結果より上位8名を選出する。それに判定できなかった組の選手全員を加えて準決勝・決勝(タイムレース決勝方式)を行う。

②中・長距離種目

周回記録員の手動計時によるバックアップ計時を採用する。

13. その他

- (1) 氏名、所属等がプログラムの印刷と異なる場合は、早めに本部の庶務担当に申し出て訂正すること。
- (2) 競技中に生じた事故については、応急処置はするが以後の責任は負わない。
- (3) 表彰については各種目6位、総合は6位、トラックの部、フィールドの部は3位まで行う。
- (4) 県大会の申し込みについては、2日目終了までにスタンド下西側(競技者係室)で行うこと。それ以後は棄権と見なす。

・各種目6位までの入賞者(走高跳・棒高跳は6名の入賞者)

ただし、不出場者がいる場合には順次繰り上げて県大会へ出場することができる。出場を辞退する場合は早めに副委員長藤田まで申し出ること。

・ハンマー投は、入賞者のうち男子33m、女子23mに達している選手

・競歩は、入賞者のうち男子28分・女子33分以内の選手

・棒高跳・三段跳については参加標準記録を設けないが、県新人大会については、棒高跳の競技開始の高さは男子3m60、女子2m20であり、三段跳の踏切版は男子12m、女子10mである。

シード選手一覧(当該年度県総体6位以内、リレーは4位まで)

「男子」	4×400mR	津島高校	砲丸投	加藤 隆至(滝)
「女子」	5000mW	岩田 華侑(一宮)	円盤投	中嶋 日向子(修文女子)
	ハンマー投	中嶋 日向子(修文女子)		

- (5) 顧問・監督・コーチは競技中にカメラ・ビデオの映像を選手にスタンドから見せることができる。  
ただし、競技場に持ち込むことはできない。もし、競技に支障をきたした場合は直ちに禁止とする。
- (6) 一般の人のカメラ・ビデオ等の撮影について

- ◆ 選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください。◆
- ※ 撮影する場合は、本部で許可を取ること(許可証携行)。
  - ※ 撮影を許可するエリアは、スタンドのみとします。禁止された区域での撮影はできません。
    - ・ 各種目のスタート後方            ・ 走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
    - ・ 走高跳のマットに向かった正面 (クリアランス動作中)
  - ※ 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
  - ※ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っている間や、身体を動かしているなどの準備の行動の撮影は禁止します。
  - ※ 他人に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。